

令和2年度 第3回 富谷市総合計画審議会 会議録

日 時：令和2年12月18日（金） 14時30分～15時30分

場 所：富谷市役所3階305会議室

参加者：富谷市総合計画審議会 出席委員11名

富谷市長、副市長、企画部長、総務部長、市民生活部長、保健福祉部長、
経済産業部長、建設部長、教育次長、事務局3名

1 開会（司会：企画政策課長）

2 委員紹介（加藤俊明氏）

3 市長挨拶（若生市長）

本日は年末のお忙しい中、また足元の悪い中、令和2年度第3回富谷市総合計画審議会へご出席いただき、ありがとうございます。また日頃よりそれぞれの立場から当市にご指導・ご支援・ご協力いただき感謝申し上げます。只今ご紹介ありましたが、前任の七十七銀行富谷支店 佐藤忠行支店長に代わり、新しく加藤俊明支店長にお引き受けいただきました。どうぞよろしく願いいたします。

今回の審議会ですが、夏に行った市民アンケートの集計結果概要及び後期基本計画の概要をご説明させていただき、皆様のご意見をいただければと思っております。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

4 会長挨拶（風見先生）

年の瀬やコロナの状況等、大変な昨今ではございますが、総合計画審議会を開催できたこと、うれしく思います。

さて、自然は人間に恵みを与えることもあれば苦難を与えるという、生きていくうえで自然との共存は切っても切り離せないものでありますので、我々は自然に対しての都市システムがどうあるべきかを考えなければいけないなと思います。都市計画というものは、大げさなようですが、今後100年を考えなければいけないものです。今回は10年の基本計画の後期5年の計画となりますが、今一度、富谷市が「住みたくなるまち日本一」となれるよう、皆様のお知恵を拝借したいと思います。田園のような美しい自然環境と都市のような豊かな生活が共存する都市が、富谷から生まれることを楽しみにしております。

ぜひ本日は、皆様のご意見をいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

5 議事（進行：風見会長）

(1) 富谷市まちづくりアンケート結果概要について

(2) 富谷市総合計画・後期基本計画（案）について

（資料1、2に基づき事務局から説明）

（風見会長）

ありがとうございました。委員の皆様から、それぞれの視点でご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

（石井委員）

後期基本計画概要の2ページにある「3. 後期基本計画へ反映する新たな要素」ですが、概要を見るだけではあまり反映されていないような気がしますので、もう少し目立つ形で入れていけばいいのかなと思います。

（事務局）

ご意見いただきました件については、後期基本計画の本編へ分かりやすい形で取り入れていきたいと考えております。

（平岡委員）

図書館建設について、小・中学校へのエアコン設置等で、時期がずれたりしていると思いますが、現状いつ頃の完成なのでしょうかな？

（事務局）

図書館については、当初は単体での建設を予定しておりましたが、市民の皆様の意見を踏まえまして、スイーツステーションと児童屋内遊戯施設を含めた複合施設として、今年度基本計画策定に取り組んでおります。

（市長）

補足します。市民図書館については、既に策定している基本計画からは変わりなく、令和4年度に開館しますが、センター館と分館の規模の再検討や複合施設として、より充実するように進めております。

（富田委員）

後期基本計画概要の7ページの1-2 教育・国際交流における数値目標ですが、「小中学校図書館蔵書数」には、既にタブレット端末の整備も済んでいることですので、デジタル図書の蔵書も検討していただければと思います。

また、2ページの「子どもにやさしいまちづくり」については、子どもが育った10年後の視点も取り入れていければいいのかなと思います。子どもだけではなく、保護者を支える方を支えていくようなことも市政へ検討していければ、よりよくなるのかなと思

います。

(風見会長)

自助・公助・共助という言葉もありますが、コミュニティの中での支え合いやそれに対するシステムをどう考えるかというのは、市政の中でもぜひ取り組んでほしいと思います。

(佐々木久美子委員)

後期基本計画概要の 4 ページの 4-1 子育て支援における数値目標ですが、新生児訪問率 100%だが、主な施策のどれから？

(事務局)

こちらについては、後期計画 54P③にごさいます「とみや子育て支援センターの充実」から新生児訪問率を数値目標に掲げているところでごさいます。

(佐々木久美子委員)

数値目標の新生児訪問率だけでは、とみや子育て支援センターの充実を図ったということにはならないのではないのでしょうか？

(保健福祉部長)

これから子育てをしていくお母さん・お父さん方にとって、少なからず不安や悩みがあるとしますので、出産というタイミングで新生児訪問を行うことで、つながりを持っていくことが大切だと感じています。このつながりが、今後の育児や訪問などにもつながっていくことと考えていますので、新生児訪問率を数値目標に挙げたところでごさいます。

(佐々木久美子委員)

新生児だけでなく、少なくとも子どもが 3 歳になるまでは親はいろいろなことに悩んでいることと思いますので、ほかにも数値目標を設けるなど、もう少し検討していただけるといいかなと思います。

(副市長)

委員のおっしゃる通り、新生児訪問率だけではとみや子育て支援センターの充実を図る指標には不足していると思いますので、もう少し検討させていただければと思います。

(風見会長)

施策と数値目標の設定は、非常に難しいことだと思いますが、内部での再検討をお願いしたいと思います。

(増田委員)

同じく後期基本計画概要の 4-1 子育て支援において、子どもにやさしいまちづくりの推進をしていくとのことですが、市の政策だけではなく地域団体の活動も支援していくような視点も入れば、より広がりが出ていくかなと思いました。

(事務局)

「子どもにやさしいまちづくり」は、重要な視点と捉えておりますことから、いただいたご意見を参考に指標等の検討をしたいと考えております。

(風見会長)

ぜひ地域ぐるみで支えていただく仕組みを考えていただければと思います。

(草野委員)

富谷市は行政改革を始めとしていろいろな取組を行っているので大丈夫かと思いますが、財政の健全化がSDGs等を考えていくうえで必要になってくると思います。

また、富谷市は、住宅地が分散しており、市全体で見ればコンパクトシティになっていますが、住宅団地に細かく目を向けてみると、そうではないような気がします。今後は人口減少社会を迎えますので、自然環境や住宅環境の良さだけでなく、経済社会の面からも横のつながりが非常に重要になるのではないかと思います。

(風見会長)

財政面とまちづくりのデザインは重要な観点だと思います。今後は、高齢化社会を迎えるにあたって、地域コミュニティにおける交通ネットワークも重要になってくるかと思っています。

(加藤委員)

アンケート結果において、住み続けたいと思う方が多いという結果でしたが、これからは「外から来る方が住みたいまち」という視点も必要になるかと思っています。現在、住宅ローン等の相談でいらっしゃる方がおりますが、土地がなかったり予算が合わなかったりということがございますので、具体的な対策が必要かと思っています。

また、9ページの2-1 環境衛生における空き家対策の推進についても、防犯の面だけでなく、少しでも人口拡大につなげられるように対策が必要かなと思います。

(事務局)

市としても、現在分譲を進めている明石台東地区を始めとして、成田二期東地区等へ、より多くの方に富谷に住みたいと思っていただけるように、開発事業者等と連携して、市の魅力を高めることができる様々な施策を考えていきたいと思っております。

空き家対策につきましても、新しい住民の方の受け皿としまして、制度化の面も含めて今後検討していきたいと思っております。

(風見会長)

只今のご意見についても、政策的には手を打たなければいけない観点ですので、見直していただければと思います。

(平岡委員)

後期基本計画概要の 6 ページ 2-2 のしんまち地区の活性化については、新興住宅地ではあまり関心が高くないように見受けられますので、広報や口コミ等を効果的に使っていった方がいいのかなと思います。

(市長)

新興住宅地においてはしんまち地区の活性化ということは、関心が薄いのかかもしれませんが、富谷の歴史を後世に伝えていくという観点から、非常に重要な事業だと考えておりますので、事業への取組はもちろんですが、広報・周知にも努めていきたいと思えます。

(風見会長)

これまでの富谷の歴史が、しっかり富谷の魅力として根付いていくように、力を入れて取り組んでいただければと思います。

(大川委員)

後期基本計画概要の 7 ページの 3-1 芸術文化のことですが、よく「歴史に学べ」というように、富谷市が持つ宿場町を生かさないと手はないと思っております。現在は、しんまち活性化協議会において協力させていただいておりますが、富谷の歴史も、歴史探訪等でもっと深く探れば面白い市になると思います。

(風見会長)

歴史はロマンですから、その歴史をより知ることによって先人たちの知恵や業績に触れることもできると思います。

(佐々木委員)

只今の委員の話を受けて、私も「地域のアイデンティティをつくる」ということは重要だと思っております。「村から町へ 町から市へ」成長してきた富谷市は、これからは市をどのように充実させていくかということが課題となっております。富谷の歴史には内ヶ崎作三郎氏などの偉人がおりますので、そのような魅力を生かしていければいいのかなと思います。

また、全体的な話になりますが、総合計画策定における数値目標というのは良し悪しがあります。数値という明確なものがあれば、結果を図りやすいですが、どうしても達成できない目標は立てたくないというのが心情ですので、自然と達成可能な無難な目標になってしまうことがあります。これからの後期基本計画では、数値だけに捉われるのではなく、分野横断的なプロジェクトをつくって実行していくことが重要かと思えます。

(小澤委員)

富谷市では、これまでも常に先見の明をもって、ICT 教育の導入や不登校児への対策等をすすめておりましたので、学校現場では整備いただいた環境を有効に活用できるよう教育の質の向上や学校経営していきたいと思っております。

(風見会長)

委員の皆様、ご意見ありがとうございました。事務局から説明のあった後期基本計画について、本日いただいた意見の他にあれば、1月15日までに回答いただきたいと思っております。これからの「まちづくり」というのは、行政だけではなく、市民の方や富谷を好きになったファンの方と共に行っていくものと考えています。「まちづくり」の原点は、歴史に学び、現状を正しく評価して、未来への布石を打っていくことであり、その「まちづくり」の最上位計画が、現在策定している総合計画でございますので、改めて皆様のご意見をいただければと思います。

(若生市長)

委員の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。アンケートの集計結果にある「富谷市の定住意向 88%」という結果は、他自治体に比べても高い数値でございますので、本市としては今後も伸ばしていければと思っております。本日は時間の都合上、概要の説明となってしまいましたが、ぜひ本編についてもご覧いただき、1月15日までにさらなるご意見を頂戴できればと思います。

(風見会長)

ありがとうございます。私自身も、富谷市への満足度は高いと感じておりますので、今後も油断せず、市民の皆様と一緒にまちづくりを行っていければと思います。年末年始ではございますが、委員の皆様も事務局も一体となって、後期基本計画の策定を進めていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

それでは、議事を事務局へお返しします。

(事務局)

風見会長、ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の会議は終了となります。お忙しい中、ありがとうございました。

以上